

8/22

省庁交渉

# 全国生活と健康を守る会

## 夏の中央行動に参加しました！

### 障害施策の実態伝え改善迫る

#### <要望項目>

- 1 身体障害者や知的障害者と同じように、精神障害者の交通費（JR・バス・タクシー・飛行機）の運賃割引が実施されるように、国が対策を講じること
- 2 重度心身障害者医療費助成制度を国の制度として実施すること。また、3障害の格差がないようにすること。
- 3 障害福祉サービスにおける基本報酬単価を引き上げ、安定して運営でき、職員の身分保障ができるようにすること。特に、処遇改善加算ではなく、最低賃金引上げに見合う基本報酬単価の引上げをすること。
- 4 就労継続A型の平均労働時間、就労継続支援B型の平均工賃額のように、基本単価額のランク分けをやめること。
- 5 グループホーム事業（外部サービス利用型）における事業報酬費の基本単位を大幅に引上げること、入居者が入院しても事業報酬費の基本単位を支給できるように制度を改善すること。
- 6 グループホームにおいては、国庫補助新築建設費の枠を広げること、スプリンクラーのみならず、消防設備に関する助成を行うこと。
- 7 居宅介護の事業報酬費基本単位を引上げること。

#### 「政府交渉に出て得られるもの」

中央行動に初めて参加しました。障害分野では、施設整備費について札幌市では「国の補助金は1件分しかできない」と言っていたが、国は「そのような1件分だけという事はない」と回答していただきました。この回答を得たことにより、国はこう言っていたが、札幌市はどうなっているのだと、今後

支援する会会員

石橋妙美

交渉する事ができます。これが政府交渉に出て得られるものだと思います。今回得た、回答や経験をもとに地域でよりいっそう奮闘していきます。



#### 「障害施策の実態を直接訴える機会を得た」

支援する会理事  
片山和恵

片山和恵

1時間の交渉の中で、一番時間を割いたのは、重度心身障害者医療費助成制度の要望でした。自治体で内容に格差がある実態を訴え、障害者権利条約批准国として改善を求めました。国は、『地方の助成制度は地方自治体が行うもの』と国の責任を認めない回答だったので、『地方が国に制度として実施して欲しいと

要請している事を無視するののか』と迫りました。担当者は最後まで答える事ができず再度回答し直す事を約束させました。

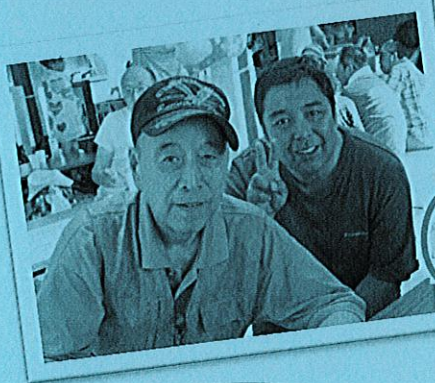
今後の運動

につなげて、必ず制度を改善したいと決意を新たにしました。



8/5 (月)

# 小樽ドリームビーチに行ってきました～！



みんなで食べた、スイカがとってもおいしかったです。  
(川村さん) ※写真右

ほまべ砂浜でやった、○×ゲームが楽しかったです。(有櫛さん)

※写真中央

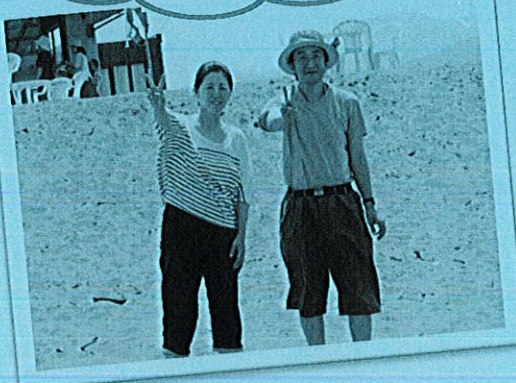


20数年ぶりの海水浴。海の家でのんびりしました。(福岡さん)

※写真左端



海は10年ぶり。皆が楽しそうで、自分も楽しかった。(増田さん) ※写真右



9/6 (金)・7 (土)

# HAPPY ショップ

## 5周年

### ありがとう祭

HAPPYショップはオープン以来、地域に根差したお店を目指してみんなで頑張ってきました。今年、5年を迎え感謝祭を行いました。



この5年間でHAPPYショップも少しずつ変化してきました。最初の頃は、みんな緊張してお客さんに挨拶すること、お店のチラシを渡すので精一杯でしたが、今では、ゆっくり品物を見てもらってから話しかけたり、お茶を飲んで頂きながら世間話をできるようになりました。居心地の良い和やかな雰囲気

囲気づくりを心掛けています。会計や精米作業は、メンバーだけで行えるようになりました。また、この5年間でリピーターのお客様が増えました。そこで、お客様の名前を覚えることに取り組んでいます。毎朝のミーティングでショップメンバーから「こんなお客様がきて、こんな出来事が

ありました」とメンバーが報告もできるようになりました。地域から寄せられたリサイクル品は、作業所で大切に保管して、ショップで販売しています。皆がショップの一員だという意識で取り組んでいます。応援してください。いる地域の方々への感謝の気持ちを忘れず、皆で力を合わせて前進していきたいです。

(スタッフ中村)

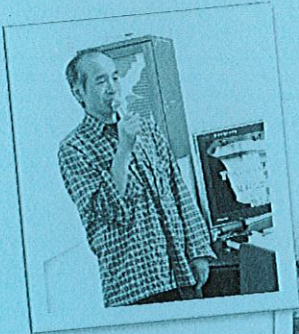


「土曜学級」

# みんなで歌うと楽しい！

ダリアの郷支援センターの土曜日、通称「土曜学級」。9：00～2：00まで開所しています。新聞を読んだり、音楽を聴いたり、トランプをしたり自由に過ごします。カラオケの日は、通信カラオケで好きな歌を歌って、リフレッシュ。昼食も楽しみの一つです。

「横浜 たそがれ」



「負けないで もうすこし♪」



「縦の糸はあなたあ」



「帰ろうかも帰ろうよ」



「瀬戸はひぐれて夕波小波」



「何度でも何度でも 立ち上がり呼ぶよ！」



この日の昼食は 「コロッケ（かぼちゃ&ポテト）定食」



「うわ〜！おいそう」



9/4(水)

# 新・人間裁判(札幌地方裁判所にて)

## 第20回 口頭陳述

### 五十嵐 満さん



私は昭和29年、北海道岩見沢市で生まれ、高校時代まで過ごしました。卒業後、公務員試験に合格。成田空港で働く事になり、研修の為に昭和48年に上京しました。

その頃の新宿は、光化学スモッグがひどく、冷房設備のない教室で、1日中授業を受けました。半年間で20キロもやせ、睡眠不足

になり、働くことが出来なくなつて職場を解雇になりました。岩見沢に戻りましたが、戻ってきたものの精神的に疲れ果て、二カ月精神科の閉鎖病棟に入院しました。退院後、19歳で札幌の職業訓練校に入学、昭和50年4月から配管工として働き始めました。バブル景気の頃で、年収も500万円以上になりました。26歳で結婚、二人の子供も授かり、住宅もローンで購入して、充実した生活を過ごしていました。

平成11年43歳になった時に病気が再発し2カ月入院しましたが、職場に復帰できませんでした。しかし、仕事に追われ、病院から眠剤をもらっていました。そのような日々の中で、交通事故を起こしてしまい、免許が停止され、平成19年53歳の時に会社を解雇になりました。夫婦間もうまくいけなくなり離婚、家も手放しました。自分がとても嫌になり、どんどん落ち込んでいく中、重度のうつ病になり働く事も出来なくなりました。

姉の紹介で道生連の細川さんに巡り合い、生活保護を受ける事が出来たのでした。平成21年の事で、アパートを借りての一人暮らしは、週1回の入浴もようやく出来る状態でも無気力な生活が4年も続きました。姉に相談して札幌市西区にグループホームが出来た事を知り、すぐに申込みました。南方向の窓、ベッドのあるとても良い部屋でした。セントラルヒーティングで、食事もあり、今までと比べればとても良い生活ができるようになりました。孤独死の心配も無くなると心から思いました。

ところが平成25年8月より生活保護費引き下げが始まりました。貯金はありません。障害年金を受けっていますが、障害3級の為に障害加算も付きません。グループホームでは一定の費用を支払わなければならぬ為に、食費を浮かすなどの節約も出来ません。お正月や連休などに兄弟の家に行く頻度を減らしたり、貯金もできなくなりました。冠婚葬祭や、出産祝いなど親としてやってあげたい事も、親せき付き合いもほとんどできません。しかし保護費の引き下げは続いており、大変困っています。憲法25条で定める「健康で文化的な最低限度の生活」は営めません。保護費をもとに戻して欲しいと心から願っています。

まつながゆきえ

# 松永雪枝です



6月から「マザーハウスぼぶら」で食事作りをしています。20年間郵便局で配達の仕事をしてきましたが、定年となり新たな仕事にチャレンジしようとして「ぼぶら」にきました。「美味しい♡」と言ってくれる皆のやさしさが、毎日の励みです。

新しいスタッフを

紹介します！



なかの るみこ

# 中野留美子です



8月より、「グループホームひなた」で食事の用意をさせて頂いております。今まで、ほとんど他の人に食事を作ったことがなかったので、みんなの口に合うのか心配でした。でも、みなさん「美味しい」って言ってくださるので、楽しく作らせていただいています。

よしだ ようこ

# 吉田陽子です



末崎直生さん 作

9月からダリアの郷支援センターの主任になりました。よろしくお願ひします。23年前にグループホーム若根荘の世話人となり、その後は勤医協で働いていました。その間も監事として行事毎に参加していました。なんだか実家に戻った気分です。メンバーのみんなとゆっくり歩みます。

# 4コマまんが

～チヒロとサト～



By はは

## 《寄付金・寄贈品》

当会の活動に対し、ご支援いただき  
厚くお礼を申し上げます。

(順不同・敬称略)

2019.7.1～9.30

北海道生活と健康を守る会連合会、NPO はるな会  
障害者サポート、NPO 法人みんなの広場、特定非  
営利活動法人クリオネ、めだか共同作業所、土沼  
芳枝、工藤禮子、安彦洋子、小島智子、宮岸真澄・  
文子、渡辺兵吉、片山則之、ニチドク事務機(株)、  
(有)京屋電機 齊藤一博、藤本青果店、フジモトア  
キラ整骨院、山崎裕一、沼山恵美子、達崎竜一、  
松本眞郎、春木由春、田代幸雄、内田民江、田口  
尚之、川島義和、伊藤朋也、山階雅章、池田道子、  
増田一、川村昌克、土沼芳枝、高坂瑞世、池高、  
土沼司、増田ゆみ子、増田順蔵、渡辺正興、藤原  
和正、白山操、五十嵐満、新井邑望、吉岡政信、  
桃野邦之、佐藤、追川、向山、及川、吉沢、笹、浜  
林、市村、ハタノ、三好、山田しげこ、天野、山  
本、佐々木、落合、塚田、内山



### ～ご協力のお願い～

『書き損じハガキ、ありませんか？』

いつも、ご協力頂きありがとうございます。  
支援する会では、書き損じハガキを、  
支援する会の財政活動に使わせて頂いてい  
ます。引き続きご寄付のご協力を宜しくお  
願い致します。

HSK ころから

昭和48年1月13日第三種郵便物承認

発行 2019年10月10日(毎月10日発行)

HSK通巻番号571号

### <編集後記>

消費税が10%に。980円の娘のシャツがレジで1,078円と言われて10%の重みを実感...。コンビニでチャージ  
をして払うと数十円の返金があって、何だか得をしたような気分になってみたり。消費税は社会保障の為と聞か  
されてきたけれど、10月から生活保護の生活扶助費が、昨年に引き続き引き下げられ、老後の年金もあてになら  
ない。私たちが払った税金はどこでどのように使われているのか？ますます、新・人間裁判の重要性を感じる。原告  
は自分をさらけ出して世に訴えている。ぜひ、意見陳述書をお読みください！私は、一緒に声を上げてくれる人を  
増やせるように努力しなくちゃ！自分の為、子供の為、みんなの為に。(藤原)